

異業種 J V 発注方式の選択肢に

研究会報告書

国土交通省の異業種 J V 研究会は、21日の会合で、発注事例を踏まえた異業種 J V のメリット・デメリットを整理するとともに、異業種 J V を例外的な措置ではなく、当初から発注方式の「一つの選択肢」に加えるよう提案した報告書(案)をまとめた。5月中旬に最終決定し、地方公共団体に配布する。

報告書案では、異業種 J V のメリットについて、一方、デメリットについては「地元業者の受注機会確保のために乱用され、不良不適格業者の参入を招く」「J V 運営上の管理体制の不備により運営上のトラブルが起きる」「安全管理体制や取組(かし)が生じた場合

の責任体制が十分とならない」などを指摘した。これを踏まえ、異業種 J V の活用にあたっては「一つの選択肢として、一括発注方式と分離発注方式との場合を相互に比較し、適正に選択すべき」と提案した。

また、今後の課題として異業種 J V の前提となる「J V 制度の適正化」を記載。現在、公共工事の請負総額の3割を J V が受注している実態に

対して、「受注機会の配分のために乱用されている」「不良・不適格業者の温床ともなっている」と指摘。J V 制度の運用改善を求めた。

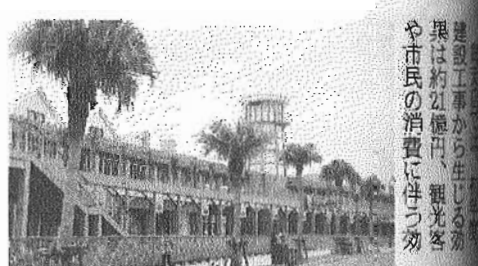
これについて国交省は、「近く実施する地方公共団体へのアンケート調査で実態を把握し、今後の対応を決めたい」としている。

ドルフィンポートの経済効果

初年度は約60億円

日本政策投資銀行南九州支店(塩津洋支店)

建設工事から生じる効果は約21億円、観光客きつげながら、観光客や市民の消費に伴う効果は約39億円と試算。今後、いかに地域が一体となって「鹿児島らしさ」をPRしていけるかがポイントとした。



オープン間近となったドルフィンポート。今後の方向性については、「地元客を呼びつけながら、観光客にもアピールしていくことが必要」とし、誰もが楽しめる「鹿児島らしさ」を提言。「鹿児島島の『海の駅』として、継続的な発展を確保する工夫が必要」と分析した。



日本建築士会連合会(日建士連)の「専攻建築士制度」が、17年度からいよいよ本格運用に移行した。試行期間の2年間で全47建築士会中、17士会が16年度までに制度をスタートさせ、認定者数は3200人を超えた。17年度中には大半の建築士会が運用を開始する見込みだ。他の建築関連団体をも大きく巻き込むこの制度が、建築界、そして社会にどのような影響を与えていくのか、あらためて考えてみたい。

専攻建築士制度

社会認知の確立へ

制度そのものを変えていくという「運動論」(専攻建築士制度運営委員会・藤本昌也委員長)的な性格も持つ。

創設の背景には、現行の建築士制度が、制定から50年余りの年月を経て、制度疲労をきたしているとの認識がある。また一般の人々

は、地域に根差して地道に活動する建築士の存在を意識することは少ない。そんな現状を自らの手で変えていくという取り組みであり、その意気込みは大いに評価できる。

日建士連ではこの制度をめぐり、他の建築関連団体との連携を積極的に進めてきた。現在、専攻建築士の7専攻領域のうち、5領域で9団体と資格整合に向けた基本合意(確認など含む)を締結。今後、これらの団体に「(仮称)専攻建築士制度関係団体運営連絡会」への参加を呼び掛け、さらに連携を深めていく方針だ。まづつくり専

攻など残る領域についても連携の在り方を模索しているという。これまで建築関係団体は、とすれば自分の殻に閉じこもりがちで、独自路線を歩む傾向があった。専攻建築士制度を軸とした動きは、このような体質を打ち破る可能性も感じさせ

る。一方、連携を優先するあまり、制度の位置付けや責任の所在が不明確となっている点は気に掛かるところだ。こうした積み残しの課題は、制度そのものの信頼を揺るがしかねない。

また本格稼働を受け、認定者がさらに増えていくば、この先「業務などに

かわるメリット」を求める声も強まってくるだろう。だが、この制度が本当に「消費者保護」を目的とするならば、専攻建築士自身が他の違いを明確に示していくことが先決となる。そのことが消費者(施主)が設計者を選ぶ上で、もっとも役立つ判断材料となりうるからだ。建築関係団体が共同で、専攻建築士による消費者保護の決意を宣言することも一つの方法だろう。

第2ステージに入った専攻建築士制度。建築界という「コップ」の中の改革にとどまらず、広く社会に認められるかどうかは、専攻建築士自身の取り組みに掛かっている。

太田機工ジョイントフェア

きょうから薩摩川内市で



太田機工(株)(上山武俊社長)主催の農機・建機総合展示会「ジョイントフェア2005」が、薩摩川内市でいよいよきょうから始まる。メーカ40社の最新鋭機から中

古機、小物等を一堂に展示する。中でも注目には中古ハウス30棟の大処分。すでに展示の準備も完了、開場を待つばかり。場所は空港バイパス沿いの特設会場(カーランドジャ

ンボ川内そば・さつまライオン川内店隣)。詳しくは、同社(0906・22・6191)まで。

テント設営など開催準備するスタッフ。薩摩川内市特設会場で

会場では、協賛メーカー(約30社)が家電、工具、工事材料、エアコン、健康器具などの新商品を多数展示、特価で販売する。また、来場者にはもれなく記念品が贈呈されるほか、うどん、そば、フリースタック等のコーナーでは無料で食事もできる。同社は、多数の来場を呼び掛けている。

川辺町に立地している三豊機工(株)の鹿児島工場が増設されきょう23日午前11時30分から、同町の現地で行われる。

きょう、竣工式

三豊機工 鹿児島工場増設

問い合わせは、同社(099・251・9431)まで。

周囲が気づくサイン

- 1 表情が暗く、元気がない
- 2 遅刻、早退の増加
- 3 仕事や家事などの能率が落ちる
- 4 人との交流を避け、外出しなくなる
- 5 ケアレスミス・小事故の増加
- 6 飲酒量が増える…など



「がんばって」などの励ましはしないこと

本人が自覚して発見したり、周囲の気づきで支援することが大切です。特に病状が進むと、回復に時間がかかることが多くなりますので、早期発見はとても大切なことです。家族や友人、職場の同僚などが気づく変化には次のようなものがあります。

うつ病の治療は 周囲が支援を

うつ病は本人だけでなく、周囲が気づいて治療をすすめたり、環境を整えて、協力して治療を支援することも大切です。

世界的に見ても、うつ病は大きな健康課題となっていて、世界保健機関(WHO)が行った予測では2020年には総疾病の第2位になるだろうと言われています。それほど身近な病気になっているにもかかわらず、医療機関での受診が遅れてしまう人が多いことは問題です。

本人が自覚して発見したり、周囲の気づきで支援することが大切です。特に病状が進むと、回復に時間がかかることが多くなりますので、早期発見はとても大切なことです。家族や友人、職場の同僚などが気づく変化には次のようなものがあります。

周囲の人が気づいたときに大切なことは、本人を決して励ましてはいけないということです。つい、「がんばって」とか「あなたならできる」といった励ましをしなくなり、うつ病に陥っては逆効果。まずは気づくこと、そして、話に耳を傾けて、その後、専門医受診などの適切な対応・助言を考えます。「ゆっくり休んでいい」と伝えて、周囲が協力して環境を整えることも大切です。

メンタルヘルス

かごしま中央クリニック 院長 医学博士 大迫智先生

私の健康手帳 第4回



ドルフィンポートオープン

潤い・安らぎの場に

県民が集う憩いの新名所として期待される「ドルフィンポート」(鹿児島市消防音楽隊による演奏)が、このほや関係者によるテープカット



テープカットを行う関係者
＝鹿児島市のドルフィンポートで

ットが行われ、大きな拍手の中、盛大にオープンを祝った。

初めに、鹿児島ウオーターフロント(株)の大西儀朋社長が「鹿児島島の歴史と未来、そして現代を実感してほしい。また、食事やショッピングの楽しさ」と同時に潤い・安らぎといった心の豊かさを感じてほしい。ふるさとの魅力を再発見するとともに、世界に誇れる施設として一緒に創造していきたい」と挨拶した。

同施設は、鹿児島島の豊かな自然景観を体感しながら、老若男女だれもが憩える場をコンセプトに、県民自らが主体性を持ち開発運営すること

丸栄建設・丸栄共栄会総会

安全パトの徹底等柱に



現場での意識高揚・イメージアップを決めた総会。志布志町のボルベリアアグリで

総会の冒頭、小林正夫会長(丸栄建設社長)が「安全第一を心がけ災害防止に努めてさらなる躍進を」と挨拶した後、各議題を審議し事業計画や予算案を承認した。総会後開かれた懇親会では、挨拶に立った徳留社長は前年度の経過を報告した。後、丸栄建設(株)、イリアスホーム社員や関係会社代表者約80人が出席し

丸栄建設(株) 徳留聖一社長、鹿児島市の協力会・丸栄共栄会は23日、志布志町のボルベリアアグリで第11回通常総会を開き、さらなる安全パトリール実施の徹底、福祉事

事業報告・収支決算報告、17年度事業計画・収支予算案などを審議、執行部

原案通り可決した。新年度事業計画では、単

独から合併への入れ替

え補助金手続きを重点項目としたほか、浄化槽メーカーの工事見学や浄化槽技術研修会、講習会など

を目的に建設された。最大の特徴は、テナントをすべて海向きに設置し、オーシャンビューを満喫できる構造となっている。

このほか、観光バスにも対応した約750台分の駐車場を併設。特産品販売店や飲食関係など24店舗からなり、面積は4600㎡。なお、設計は(株)東条建設、施工は前田組・内村建設・大成建設が担当した。

農機・建機総合展示会

延べ1200人のにぎわう

太田機工

太田機工(株) (上山武俊社長、薩摩川内市)主催の農機・建機から各種機械の総合展示会「ジョイントフェア2005」が23、24日開かれ、主催者の予想を上回る延べ1200人の来場者でにぎわった。上山社長は「2年前からこれまでの農機・建設



私どもが目指す企業目標も地域に定着し、他の分野の人たちとの新しいつながりもできてきた。この成果が今回につながったのでは」と話した。注目を集めたのは、今年1月から本格販売を始めた改正廃掃法等適合の



廃プラ用焼却炉や会場を囲むように設置した中古ハウス30棟、送電までわずか40秒の停電用予備発電機(デンヨー)、河川敷きの法面用草刈機(筑水キヤニコム)。国交省承認工場生産の住宅基礎

「パセオエース」(新改建設)、販売以来20年以上の実績をもつ木登り器「与作」(和光商事)など。

県内7拠点の営業所長らも売り込みに懸命。各小間では商談

「ためしてガستن」

ガス製品の良さPR

設備関係者らが真剣な表情で担当者の説明を受けていた。特に人気を集めたのが高機能コンロでのグリルを活用した料理実演コーナーで、主婦らが参加して操作方法を学びながら実際に調理を楽しんでいた。同コンロはガラストップ仕様の人気商品で、耐久性に優れた内炎バーナーを用いているため安全性と省エネ率も高い。



上演終了後には参加者から抽選で同コンロのプレゼントもあり大いに盛り上がり、会場ではこのほかシステムキッチン展示コーナーや衣類乾燥機展示・実演コーナーなども設けられ、それぞれ人気を集めていた。

消費者に安全快適教室

西部ガスエネルギー(株) 鹿児島営業所 主催の「ためしてガستن」と銘打った展示販売会が22、23日、名瀬市のコスモ会館であり、会場は終日多くの来客でにぎわった。

会場には燃焼器具を中心としたリンナイ(株)の製品が数多く陳列され、新築やリフォームを予定している人や建築・設計・

また、料理教室等も行われ、来場者は担当者の説明などに興味深く聞き入っていた。嶋田所長は「この安全教室を通じて、ガスやリフォーム等に興味を持ってもらい、今後充実した内容の教室を続けていきたい」と語った。始良ニュータウンには4集会所があり、同社では地域に密着した形で今後も定期的に安全教室などを開催する予定。

また、同会場に「住まいのお手入れ講座、相談コーナー」を設け、ミサワホーム九州(株)鹿児島支店がフローリング補修や網戸張り替えなど、自分でできる簡単なメンテナンス方法や日頃の手入れチェック